



It's  
New

# 2020年、沖縄に新拠点がオープン 道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター



村の蝶々  
コノハチョウ

「やんばる」とは

古くから地元で使われている  
沖縄県北部地域の総称で、  
面積の約80%が森林です。

人の手がほとんど入っていない  
自然豊かな地域でもあり、

ここ大宜味村には、森の妖精「ぶながや」が  
棲んでいるといわれています。



ぶながや  
大宜味村

村のシンボル「コノハチョウ(沖縄県指定天然記念物)」をイメージした施設には、特産品の販売や観光案内、やんばるの森のパノラマ映像がドーム型スクリーンに投影され、森の中のような疑似体験ができる情報発信コーナーなどが施されます。また、約100人の収容が可能な、屋根付き広場が設置され各種催しが開催される予定です。

施設名称：道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター

住所：沖縄県大宜味村字津波95番地(延べ床面積/約1,420㎡、敷地面積/約16,306㎡)

直売所、食堂、テイクアウトショップ、貸会議室、屋根付き多目的広場、  
アクティビティ受付、映像ホール、大宜味村観光協会、コインシャワー、  
レンタサイクル、自動販売機、トイレ等、駐車場(普通1108台・大型9台)

営業時間：10時～19時(不定休)

Point/

## 大自然という資源を活かした地域づくり

沖縄本島北部地域が「やんばる国立公園」に指定され、さらに世界自然遺産登録に向けた取組が進められる山原(やんばる)。

「道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター」は、やんばるの大自然への玄関口であるとともに、

その地域に根差して生活している人々と直接交流できる『集いの場』、『感動を共有できる場』、『安らぎの場』をコンセプトに、  
旧大宜味中学校跡地を整備して造られました。

大宜味村を中心とした北部エリアの農産物や特産品の販売、それらを活用した飲食メニューの提供、

やんばるの自然・文化の魅力を発信する案内所を整備することで、県内外の観光客の周遊・滞在・消費を促進することを  
目的とした観光交流拠点施設です。



Point/

## やんばるならではの食事や 伝統的な文化にふれる

長寿大国沖縄県。長寿の源ともいわれる島野菜をはじめ、

山原猪豚や和蕎麦、森からの贈りもの

シークッカーを使った料理など、

地元の人にも愛されるローカルフードも是非ご堪能ください。

また、各種体験や見学を通して、

地域の生活や歴史、文化を垣間見ることもできるでしょう。



Point/

## 東洋のガラパゴス 自然を楽しむ“やんばる”

やんばるの面積は日本全体のわずか0.1%。

この狭いエリアの中に、多種多様な動植物が生息しています。

特にやんばる固有の種も多く、ヤンバルクイナやその代表です。

森の中をトレッキングしたり、カヌーでマングローブを眺めたりと、

やんばる旅の醍醐味でもあるネイチャーツアーも是非お楽しみください。

